

# ストリートダンスにおけるジェスチャーの非言語コミュニケーション機能に関する一考察

蔣 欣悦 (九州大学)

## 発表要旨

スポーツ大会では、監督やキャプテンが手足や体を動かし、多様な合図でチームにメッセージを送る場面がよく見られる。そのロジックの根底から考える人は少ないが、試合の現場が広く賑やかで、会話でのやりとりがほぼ不可能なため、そのような合図が生まれたと考えられる。スポーツ現場で使われる合図はすでに標準化されている。

その延長線上にあるストリートダンスには、さらに複雑で多様な合図が存在し、ジェスチャーと呼ばれている。それはバスケやサッカーのようにチーム内だけでなく、対内・対外ともに用いられる。ストリートダンスは元々アメリカ黒人の作りだした文化であり、当時はルールや規範もなく、音楽のリズムに合わせて自由に踊るスタイルであった。その自由さと楽しさは世界中の若者を魅了し、世界規模のダンス文化へと成長してきた。その世界進出に伴い、ルールの整備が必要となり、会話で伝えられないメッセージの伝達も必然的に記号化され、ジェスチャーが生まれた。ストリートダンスのジェスチャーは他のスポーツとの根本的な差は、実際のダンスパフォーマンスに巧妙に融合されている。

従来の言語説明では、長い文書になるところを、ジェスチャーは指一本でその情報を伝達することができる。このジェスチャーは、意味伝達だけでなく、感情も伝えようとしている。

ジェスチャーは言葉だけでは伝えきれない情報や感情のニュアンスを補完し、ダンサーの情熱や感情を豊かに表現して観客との共感や感動を生み出す。また、ジェスチャーは言葉よりも迅速であり、騒音の中や遠くからでも視覚的な認知ができ、効率的なコミュニケーション手段としてストリートダンスに定着されている。さらに、身体言語としてのジェスチャーは言語や文化の違いを超えて意思疎通が可能であり、世界中のダンス愛好者を繋ぐ効果も考えられる。加えて、ジェスチャーは言葉では表現しにくい情緒や感情を豊かに伝えることができ、ストリートダンスでは重要視されている。ダンサー同士や観客とのコミュニケーションにおいて臨機応変な伝達が可能となり、パフォーマンスの質を向上させるとともに、観客に深い感動や理解を与えることができる。

ダンスバトルでのジェスチャーは、ダンサー間および観客へのメッセージ伝達において重要な役割を果たしている。本研究では、ストリートダンスバトルにおけるジェスチャーの非言語コミュニケーション機能を明らかにするために、映像分析、文献調査およびアンケート調査の方法を用いる。特にダンスシーンでよく使われるジェスチャーの意味合いを解釈することで、非言語コミュニケーションとしての機能を見つけ出し、ストリートダンス文化のさらなる理解に貢献することを目指す。

## 参考文献

- [1] 和田実. 非言語的コミュニケーション——直接性からの検討——.心理学評論.1996,39(2),p.137-167.
- [2] 渡邊卓史. “言葉よりも伝わってしまうもの。ノンバーバルコミュニケーションの重要性”.note.2023-11-01 [https://note.com/takuya\\_watanabe/n/n50c8169c8c25](https://note.com/takuya_watanabe/n/n50c8169c8c25) (参照 2024.5.1)
- [3] STEPJAM. “あのサインの意味知ってた？ダンサーが使うジェスチャー特集”.note.2021-02-22 <https://note.com/rootzinc/n/n0570fdc90d2b> (参照 2024.5.1)
- [4] “非言語コミュニケーションとは？ノンバーバルコミュニケーションの例と種類”.Chatwork.2021-06-22 <https://go.chatwork.com/ja/column/telework/telework-094.html> (参照 2024.5.1)